

東北北部エリア電源接続案件募集プロセスの 対応について

2019年4月26日

東北電力株式会社 送配電カンパニー

- 2019年3月18日開催の第20回系統ワーキングにおいて、東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセス（以下、募集プロセス）について、前提条件である東北東京間連系線に係る広域系統整備計画における特定負担の辞退を起因とした再検討に伴い、再接続検討の回答を当該整備計画の再検討の結果を待ち、2019年4月以降速やかに行うことについて報告している。
- その後、広域機関の「第40回 広域系統整備委員会」（2019年4月19日開催）において、東北東京間連系線に係る広域系統整備計画について当初計画の規模での工事継続が決定したところ。
- 一方で、ここに至る過程で、募集プロセスの先行事業者の契約申込取下げがあり、募集プロセスの入札対象工事の前提である先行事業者を起因とする27万V系統整備に変更が生じた状況。

1. 募集プロセスの再接続検討結果の回答について

P4

【経緯】

- 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセス（以下、募集プロセス）に係わる再接続検討結果については、2019年3月下旬頃に回答する予定としていた。
- 募集プロセスは、東北東京間連系線に係る広域系統整備計画を前提に系統対策や連系可能量を検討しているが、当該整備計画の特定負担者の一部に辞退が発生。
- 広域機関の「第39回 広域系統整備委員会」（2019年3月8日開催）において、当該整備計画の特定負担者辞退による再検討を行う方針が示された。
- 同委員会では、当該整備計画の再検討の結果によっては、募集プロセスの連系可能量等に影響を及ぼす可能性があるため、募集プロセスの再接続検討結果の回答は、当該整備計画の再検討の結果を待ち、2019年4月以降速やかに行うことが提案され了承されている。



6-1. まとめと今後のスケジュール

40

<まとめ>

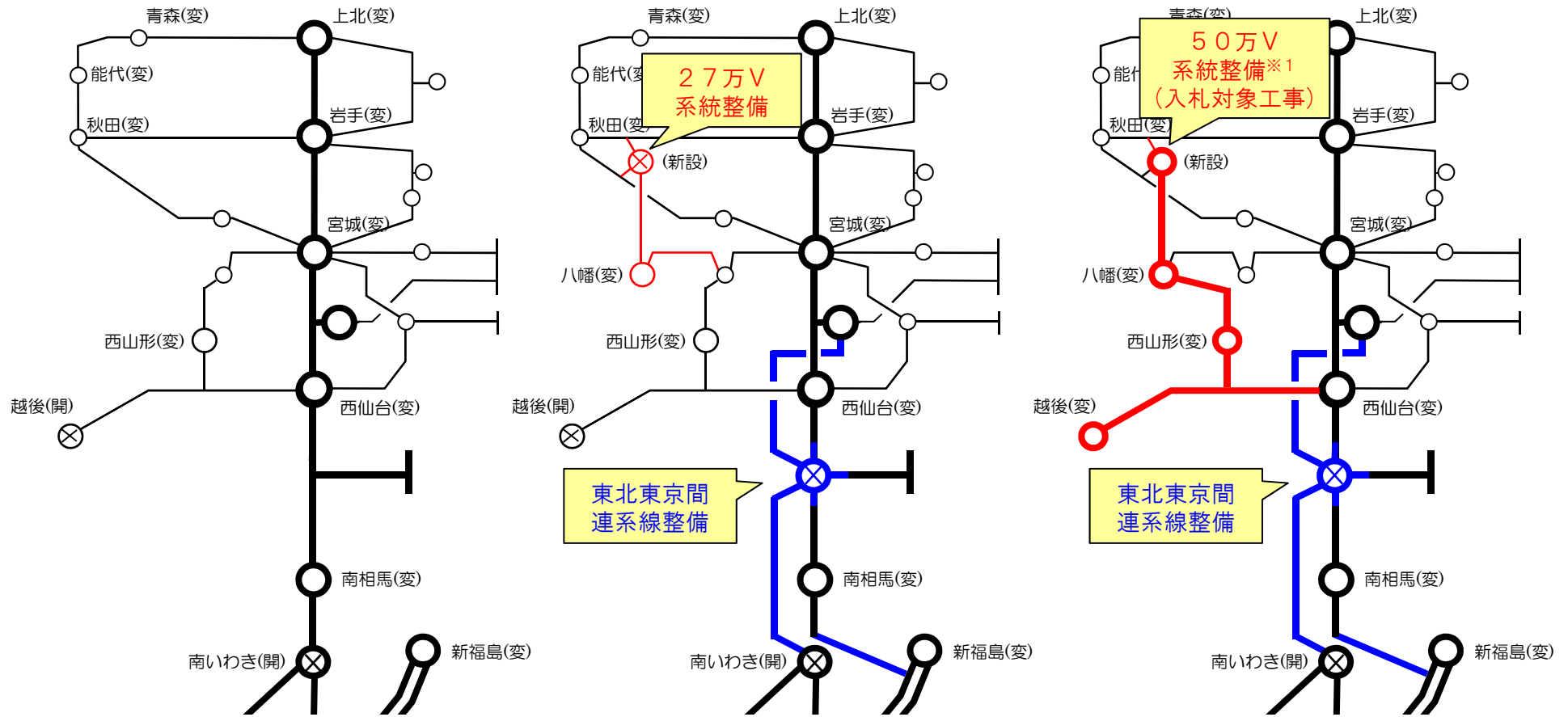
- 費用対便益評価の結果から、東北東京間連系線は現行規模のまま増強工事を継続する。
- 電源の再募集は実施しない。
- 計画策定時に合意済みの費用負担（特定負担分を含む）については見直さない。
- 北部募プロについては、東北東京間連系線の現行規模での増強を前提としてプロセスを進める。*

* 北部募プロの再接続検討の回答については、東北東京間連系線の増強規模等が北部募プロへ影響する可能性があることから、本計画の再検討の結果を待ち、2019年4月以降速やかに行うこととしていた。

<今後のスケジュール>

- 特定負担電源の辞退により増加する間接オークション利用分（元々の空容量分を含む）の費用負担割合については、国で整理される費用負担の在り方との整合を図りつつ引き続き検討していく。
- 引き続き、応募事業者の工事費負担金の10%に相当する額の範囲内で工事を進めていくこととし、上記金額を超える工事費の発生が予想される時期までに、その場合の取扱いについて、広域系統整備委員会で整理する。

- 先行事業者を起因とする27万V系統整備を入札対象工事に含めることとして、現在、詳細を検討中。
- なお、今回、入札対象工事に一部変更が生じた場合でも、全体工期（募集プロセス完了時から11～13年程度）は変更不要な見込み。
- この入札対象工事の見直しとあわせて、募集プロセス開始時からの電源連系状況の変化を踏まえ、優先系統連系希望者の追加選定を進める。
(これら今後のスケジュールについてはP9参照)



① 現状系統

② 募集プロセス開始時点

③ 募集プロセスにおける入札対象工事※2

※1 先行事業者を起因とする27万V系統整備を除く

※2 2018年11月30日優先系統連系希望者決定時点

先行事業者の契約申込
取下げにより見直し要

- なお、募集プロセスのスケジュールが当初計画から大きく遅れていることを踏まえ、4月22日より優先系統連系希望者からお申し出に基づき、下記の参考情報の提供を開始しております。

先行事業者契約取下げ前の条件において検討した
「電源線・その他供給設備工事」に関する

①工事概要 ②概算工事費 ③工事費負担金概算 ④概算工期

注) 先行事業者の契約取下げに伴う見直し等により今後変更となる可能性あり。特に、入札対象工事については、先行事業者を起因とする27万V系統整備(27万V出羽幹線新設他)を前提としていたため、契約取下げに伴い入札対象工事の見直しが必要となったことから、今回の情報には含めていない。また、今回の情報には一般負担の上限額超過分を加算していない。

(空 白)

4. 募集プロセスの今後の予定

【今後のスケジュール】（4/22 募集プロセスの優先系統連系希望者への通知内容）

	今後のスケジュール(予定)
・入札の受付開始	2018年7月23日
・入札の受付締切	2018年8月29日
・第1次保証金の振込期限	2018年8月30日
・開札	2018年9月3日～9月5日
・優先系統連系希望者の決定 ・再接続検討の開始	2018年11月30日
先行事業者の 契約取下げを 踏まえた対応 (追加)	・参考情報の提供開始 2019年4月22日
	・入札対象工事の再検討 2019年6月下旬頃*
	・優先系統連系希望者の追加選定 2019年9月下旬頃*
・再接続検討結果の回答	2019年9月下旬頃*
・再接続検討の結果を踏まえた共同負担意思の確認 ・第2次保証金の振込期限 ・工事費負担金補償契約の締結 ・本プロセスの完了 ・本プロセスの結果公表	再接続検討結果回答後, 2ヶ月程度*

終了

※ 現段階の予定であり、前後する可能性あり。

なお、再接続検討に必要な期間は通常2ヶ月程度であるが、当該募集プロセスは安定度で連系可能性が決まっているため、多くの非優先系統連系希望者存在。優先系統連系希望者に辞退が発生すれば、非優先系統連系希望者からの追加選定を行う必要あり。その都度、個々の連系方法を検討した上で、基幹ループシステムの増強工事の検討と並行して安定度評価を行う事になるため、これらの検討に5ヶ月程度の期間を要し、通常より検討期間が長期化。

4. 募集プロセスの今後の予定

